

2020年3月期 第2四半期決算説明

2019年11月15日

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

代表取締役社長 野村 拓伸

目次

- I. テクノホライゾングループについて
- II. 2020年3月期 第2四半期決算概況
- III. 2020年3月期 通期業績予想
- IV. トピックス

I. テクノホライゾン（Technohorizon） グループについて

テクノホライゾン・ホールディングス（会社概要）

社名 (英文名)	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)
設立年月日	2010年4月1日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 傘下の事業会社の経営管理・ 子会社の事業内容は「光学事業」と「電子事業」
所在地	愛知県名古屋市南区千竈通二丁目13番地1
代表者	代表取締役社長 野村 拓伸
資本金	2,500百万円（2019年9月末現在）
グループ従業員総数	889名（2019年9月末現在連結ベース）

テクノホライゾン・ホールディングス（設立経緯）

オプト・エレクトロニクス技術と強いマーケティング力
をもってグローバルな事業展開を推進すべく
JASDAQ上場2社が2010年に経営統合

テクノホライゾン・ホールディングス

エルモ社

設立: 1933年5月8日

光学事業

電子事業

タイテック

設立: 1975年9月1日

中日諏訪オプト電子

設立: 2009年8月10日

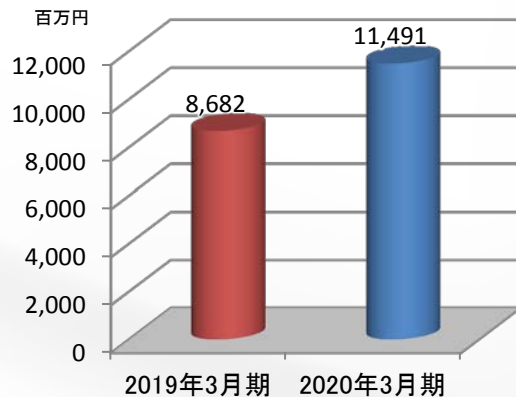
テクノホライゾン グループ経営理念

- ◆ **オプト・エレクトロニクス技術**
を核にグローバルな『人と社会』に貢献する
- ◆ **知恵とアイデアと積極果敢さ**
に溢れた事業展開を追求する
- ◆ 『**技術を活かすこと**』
『**皆さまのお役に立つこと**』
という姿勢を貫き、着実に前進する

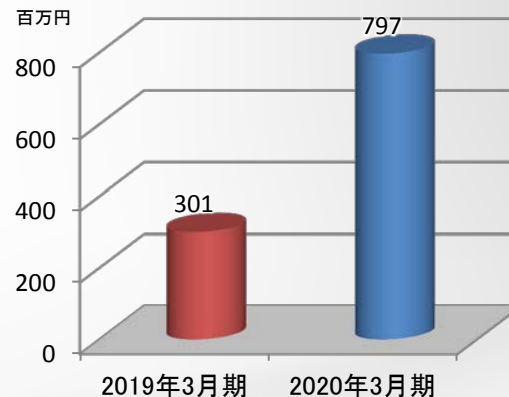
II. 2020年3月期 第2四半期決算概況

2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (1)

売上高



営業利益



経常利益



■ 2019年3月期
■ 2020年3月期

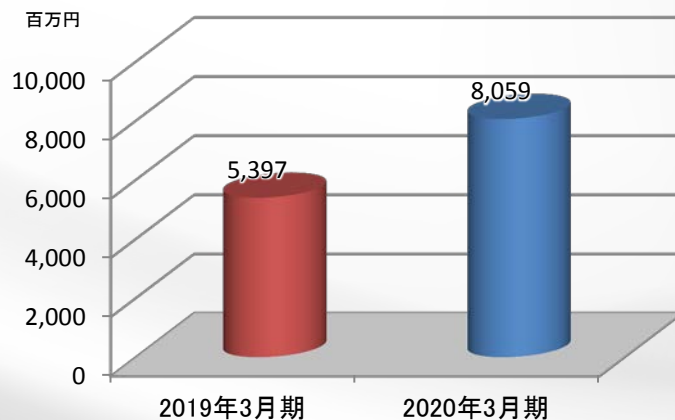
グループ連結(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
売上高	8,682	11,491	32.4%
営業利益	301	797	164.4%
経常利益	301	753	149.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△46	764	—

- 【 売上高 】 注力分野に対するM&Aや光学事業の売上高増加により 前年同期比2,809百万円増
- 【 営業利益 】 // 前年同期比495百万円増
- 【 経常利益 】 // 前年同期比451百万円増
- 【 純利益 】 海外連結子会社における固定資産の譲渡に伴う特別利益229百万円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は 前年同期比810百万円増

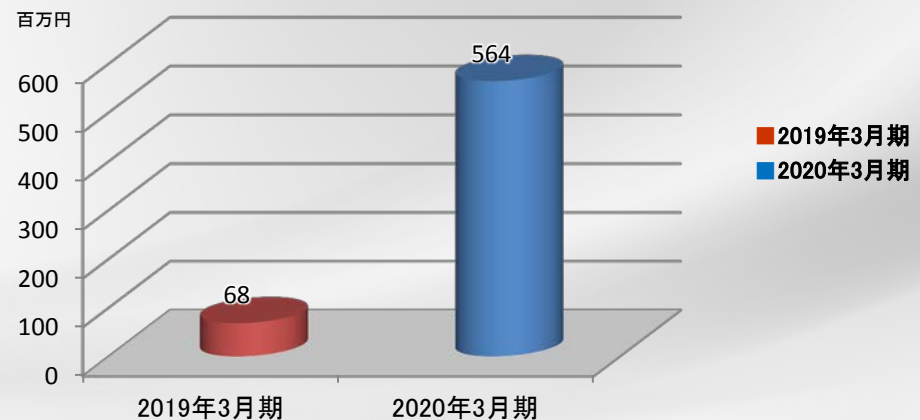
2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (2)

【事業セグメント別】 光学事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
光学事業	売上高	5,397	8,059	49.3%
	営業利益	68	564	722.5%

注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

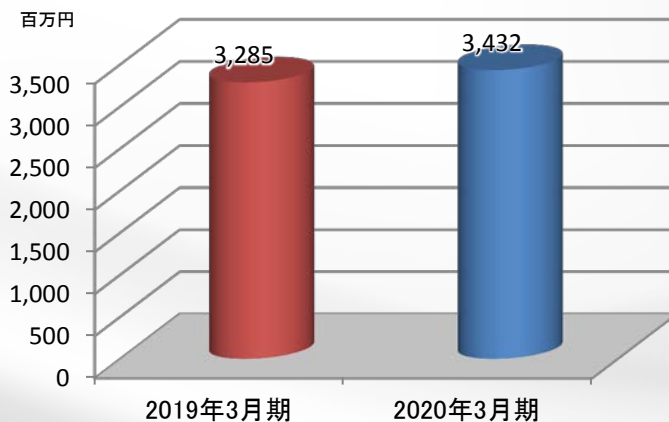
【光学事業】

- ・ 主要ビジネスである書画カメラ事業が堅調に推移。事業譲受により新たに開始した電子黒板事業は、文部科学省による教育のICT化の波に乗り大幅な増収
- ・ 業務用車載機器(ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ)は、引続き事業者の安全意識が高まる中、クラウドで運行データを保管できることが支持されて堅調に推移

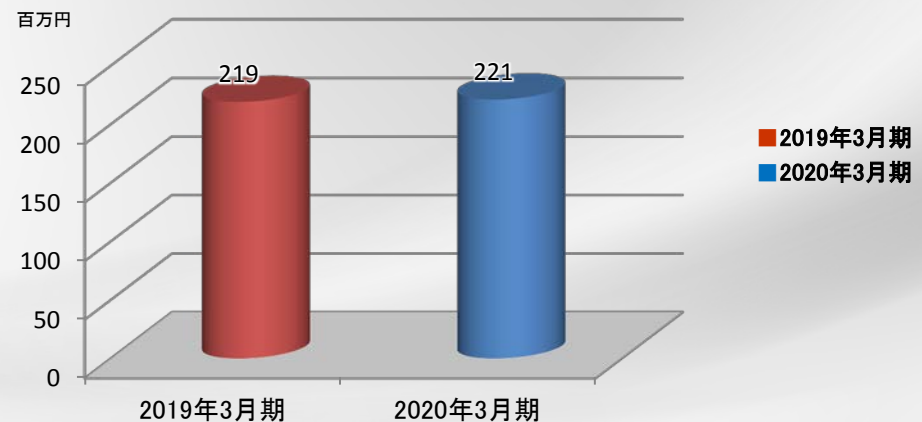
2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (3)

【事業セグメント別】 電子事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
電子事業	売上高	3,285	3,432	4.5%
	営業利益	219	221	1.0%

注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

【電子事業】

- ・ 主力事業であるFA関連機器が、国内景況感の回復を受け、国内機械メーカーからの受注を順調に伸ばした
- ・ FA中国現地法人は、米中貿易戦争による先行きの不透明感があるものの、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、安定して推移

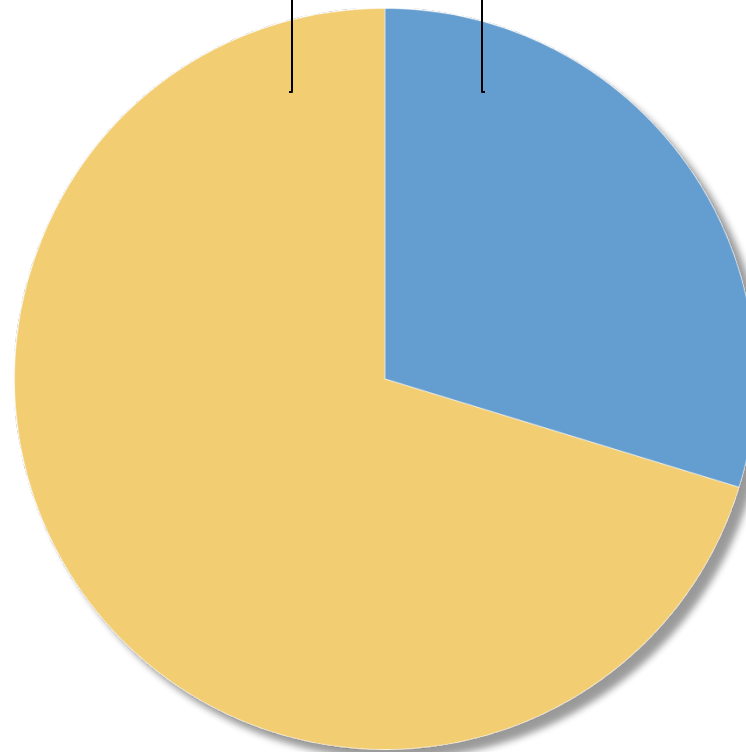
2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (4)

事業別売上高構成

売上高 11,491百万円

光学事業
8,059百万円
70.13%

電子事業
3,432百万円
29.87%



2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (5)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期 2019年3月31日現在	当期 2019年9月30日現在	増減
資産の部			
流動資産	12,205	14,967	2,762
固定資産	6,429	6,375	△53
資産合計	18,634	21,343	2,708
負債の部			
流動負債	10,378	12,696	2,318
固定負債	2,034	1,745	△289
負債合計	12,412	14,442	2,029
純資産の部			
株主資本	5,818	6,511	693
その他の包括利益累計額	403	389	△14
純資産合計	6,221	6,900	679
負債純資産合計	18,634	21,343	2,708
自己資本比率	33.4%	32.3%	△1.1pt

(資産の部)

【流動資産】

現金及び預金552百万円／受取手形及び売掛金1,226百万円／
製品、仕掛品、原材料、貯蔵品1,286百万円増

【固定資産】

有形固定資産9百万円／無形固定資産19百万円／投資その他の
資産24百万円減

(負債の部)

【流動負債】

支払手形及び買掛金1,040百万円／短期借入金1,062百万円増

【固定負債】

長期借入金245百万円減

(純資産の部)

【純資産合計】

利益剰余金693百万円増

2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト (6)

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当期 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	増減
売上高	8,682	11,491	2,809
売上原価	6,385	8,279	1,893
売上総利益	2,296	3,212	916
販売費及び一般管理費	1,994	2,415	420
営業利益	301	797	495
営業外収益	34	38	4
営業外費用	33	83	49
経常利益	301	753	451
特別利益	0	231	231
特別損失	382	1	△380
税金等調整前四半期純利益 又は純損失	△80	983	1,063
法人税等	△33	219	253
四半期純利益又は純損失	△46	764	810
親会社株主に帰属する四半 期純利益又は純損失	△46	764	810

【売上高】

光学事業 8,059百万円(対前年2,662百万円)増
電子事業 3,432百万円(対前年147百万円)増

【営業利益】

光学事業 564百万円(対前年495百万円)増
電子事業 221百万円(対前年2百万円)増

【経常利益】

営業外費用(主に為替差損59百万円)49百万円増

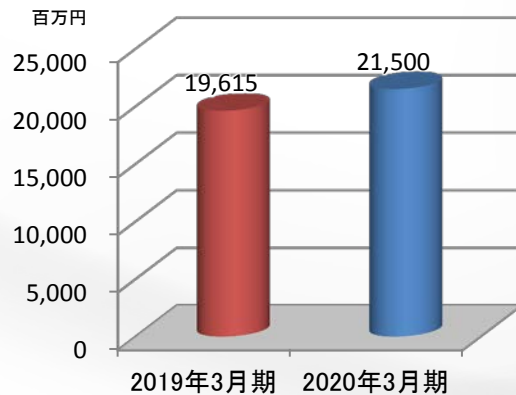
【当期純利益】

特別利益(固定資産売却益)231百万円増

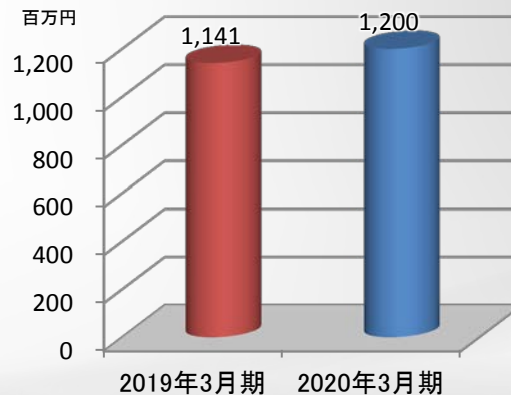
III. 2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想

売上高



営業利益



経常利益



■ 2019年3月期
■ 2020年3月期

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
売上高	19,615	21,500	9.6%
営業利益	1,141	1,200	5.2%
経常利益	1,110	1,200	8.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	646	900	39.3%

【今後の重点施策】

重点とする「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの市場で、お客様の価値を創造(困りごとの解決)を進めます。

- ①教育 : ICT化による学習意欲や効果の向上する製品の提供
- ②F A : 工場の自動化やIT化を提案し、効率化・無人化・見える化をサポート
- ③医療 : 新しい医療機器の開発サポート
- ④安全・生活: 自動車やセキュリティ分野を中心に安全な社会に役立つ機器やサービスの提供

2020年3月期 株主還元

年間配当予想 : 2020年3月期の配当は年間1株あたり10円(対前年6円増)

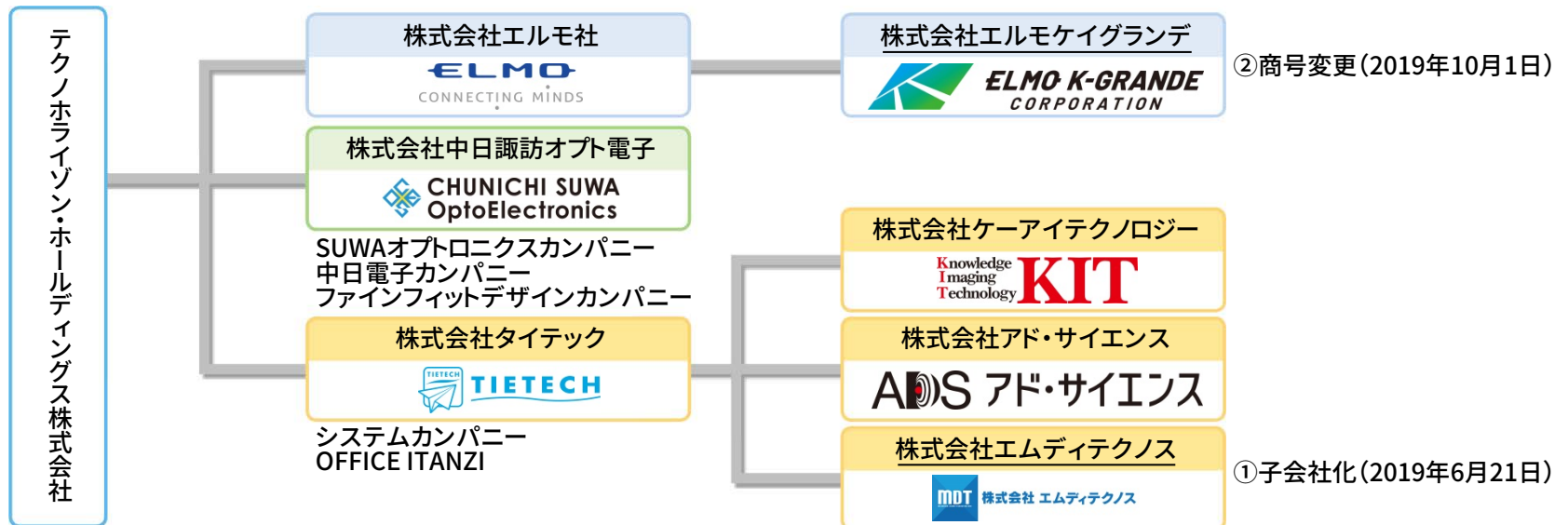


IV. トピックス

トピックス : テクノホライゾングループの動き

社内体制及びM & A 成長戦略

テクノホライゾングループの管理体制は、事業の特性に合わせ社内カンパニー制を採っておりますが、エルモグループにおきましては、管理体制をより明確にするため、文教事業をエルモ社、セキュリティ事業をエルモケイグランデとしました。また、ここ1年積極的に事業買収を行い、事業領域の強化に努めています。



※海外子会社は省略しております。

トピックス : テクノホライゾングループの動き

テクノホライゾングループの動き

タイトックがエムディテクノスの全株式を取得

2019年6月21日に当社の子会社であるタイトックが、あらゆるファクトリーオートメーションをサポートするエムディテクノスの全株式を取得しました。メカトロニクス技術を駆使した各種製造装置や画像処理技術を駆使した各種検査装置などを設計・製作する同社の当該技術をグループ内に取り込むことでシナジー効果を高め、さらなる魅力ある製品の提供します。



ケイグランデの商号をエルモケイグランデに変更

2019年10月1日に、エルモ社の監視カメラ事業とケイグランデを統合し、エルモケイグランデに商号変更しました。商号変更により、お客様をはじめ地域社会からの認知度を高め、更なる業容の拡大と当社グループの総合力の発揮を図ります。



トピックス : 新製品紹介 (教育市場)

実物投影機(書画カメラ)のラインアップ強化



◆完全ワイヤレス、コンパクト書画カメラ MO-2 発売

教育の情報化に取り組むすべての学校と教育機関に向けて、これから始まるデジタル教材を活用する授業プランにも対応できる、完全ワイヤレス、コンパクト書画カメラ“MO-2”を2019年8月末に発売しました。



◆次世代 4K書画カメラ PX-30E/PX-10E 発売

大学の講義室や企業の会議室TV会議などに便利な次世代4K書画カメラニューモデルPX-30E/PX-10Eを2019年8月末に発売しました。同機は、従来機種PX-30/PX-10において、ユーザーの方々からのご要望や、より使い勝手を考慮したニューモデルです。



◆インタラクティブ書画カメラ L-12W 発売 4K書画カメラL-12F 発売

学校などの教育機関向けに、デジタル教材が提示できる、インタラクティブ書画カメラ“L-12W”を2019年11月11日に発売。4K高画質出力を可能にした、4K書画カメラ“L-12F”を2020年1月末に発売します。



トピックス : 新製品紹介 (教育市場)

無線アクセスポイント CRI-1を xSync Classroom に連携対応

エルモ社が、無線アクセスポイント「CRI-1」を、協働学習をサポートする授業支援ソフト「xSyncClassroom」に連携対応し、2019年9月3日に発売しました。この連携対応により、先生用タブレット端末にインストールしたxSync Classroomにより、「CRI-1への接続」「ミラー画面の提示」などをワイヤレスで操作が可能となります。



プログラミング学習教材 『Scottie Go!(スコッティー・ゴー)』発売

エルモ社が、プログラミング学習教材「ScottieGo!」フルセットおよびスターターキットを2019年10月に発売しました。Scottie Go!は、ゲーム感覚のプログラミング学習教材です。実物のカードに印刷された個々の命令を並べて一連のコードを作成すると、実物投影機MA-1のカメラがコードを読み込み、画面上のキャラクター(スコッティー)が命令通りに動く仕組みとなっています。



トピックス : 新製品紹介 (FA市場)

産業用映像機器のラインアップ強化

ADS アド・サイエンス

アド・サイエンスが、IO Industries社、Emergent Vision Technologies社の製品取扱い開始。世界最速近赤外線ラインカメラ、プリズムカメラ6機種、天文用・大面積sCMOSカメラなど産業用映像機器のラインアップを強化しました。



タイテック・タブレットコミュニケーター 作業記録管理ソリューション 提供開始

TIETECH

タイテックが、デジタル化の時代に対応した『ファクトリーマネジメントソリューション』シリーズ第四弾として、「タブレットコミュニケーター 作業記録管理ソリューション」の提供を開始しました。

「作業記録管理ソリューション」は、人作業のデジタル化により、検査工程や組立工程における作業の標準化、集計の自動化、作業の見える化による工場のレベルアップを実現します。



トピックス : 事業展開

プロジェクターのラインアップ強化

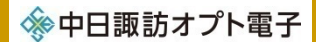


エルモ社では、AV製品ラインアップ強化の一環として、プロジェクターのラインアップ化を図っております。

現在、5,000lmレーザー光源タイプ、3,500lm短焦点レーザー光源タイプの2機種の商品化開発を来春の発売を目指して実施しています。



企業向けクラウド対応ドライブレコーダー



中日諏訪オプト電子のドライブレコーダーは、光学セグメントの業績に大きく貢献しました。人気製品の特徴は、通信機能を持ち、自動的にクラウドに運行データの保存が可能です。また、保存だけにとどまらず、急発進や急ブレーキ等運転手が気づきにくい運転のくせを分析し可視化することで、安全運転の意識付けが可能です。



経営課題の取り組み : テクノホライゾングループ拠点

日本から世界へ、最先端の技術でグローバルなニーズにお応えします。

グローバル拠点



国内拠点



経営課題の取り組み : 国内展示会出展(予定)

会期	展示会	会場
2019年3月	SECURITY SHOW 2019	東京ビッグサイト
2019年3月	応用物理学会 2019 春	東京工業大学
2019年3月	MEDTEC Japan 2019	東京ビッグサイト東ホール
2019年4月	第4回 名古屋 機械要素技術展	ポートメッセなごや
2019年4月	OPIE 2019	パシフィコ横浜
2019年4月	メディカルメッセ	名古屋国際会議場 イベントホール
2019年5月	働き方改革EXPO	東京ビッグサイト
2019年6月	NEW EDUCATION EXPO2019 東京	東京ファッションタウンビル(TFT)
2019年6月	NEW EDUCATION EXPO2019 大阪	大阪マーチャンダイズ・マートビル(OMM)
2019年6月	画像センシング展 2019	パシフィコ横浜
2019年6月	日本顕微鏡学会 第75回学術講演会	名古屋国際会議場
2019年6月	第10回教育ITソリューションEXPO(EDIX2019)	東京ビッグサイト(青海展示棟)
2019年8月	関西教育ICT展2019	インテックス大阪
2019年8月	PCカンファレンス「教育・ITフェア」	甲南大学 岡本キャンパス
2019年8月	プログラミング教育フェア 2019	ポートメッセなごや
2019年9月	JASIS 2019	幕張メッセ
2019年9月	第2回 [名古屋] スマート工場EXPO	ポートメッセなごや
2019年9月	第3回 関西 教育ITソリューションEXPO (EDIX関西 2019)	インテックス大阪
2019年10月	THHフェア2019 東京	科学技術館
2019年11月	2019年国際放送機器展 (Inter BEE 2019)	幕張メッセ
2019年11月	働き方改革 EXPO 関西	インテックス大阪
2019年12月	Photonix2019	幕張メッセ
2019年12月	国際画像機器展2019	パシフィコ横浜
2019年12月	THHフェア2019 名古屋	名古屋国際会議場 イベントホール
2020年1月	放射光学会 2020	福岡国際会議場
2020年1月	第12回 オートモーティブワールド(第8回 コネクティッド・カー EXPO)	東京ビッグサイト
2020年2月	第4回 スマート工場EXPO	東京ビッグサイト
2020年2月	第6回 ウェアラブルEXPO	東京ビッグサイト
2020年2月	第31回 東京 設計・製造ソリューション展(第2回 ものづくりAI / IoT展)	東京ビッグサイト
2020年2月	キャッシュレスTech	東京ビッグサイト
2020年2月	ヘルスケア・医療機器 開発展 [大阪] -MEDIX 大阪	インテックス大阪
2020年3月	SECURITY SHOW 2020	東京ビッグサイト
2020年3月	応用物理学会 2020 春	東京工業大学
2020年3月	MEDTEC Japan 2020	東京ビッグサイト東ホール

IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：経営企画部長
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： info@technohorizon.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。